



同友会の活動  
はこちらの  
QRコードか  
らご覧いた  
だけます。▶



# 12

2025年

月号

発行/群馬中小企業家同友会 〒371-0013 前橋市西片貝町1-300-5 ルアン第二ビル4F TEL 027-232-0001 FAX 027-232-0666 E-mail g-douyu@po.wind.ne.jp



十一月十四日（金）、冠稲荷神社ティアラグリーンパレス（大塚嘉崇氏／太田支部）を会場に「二〇二五経営研究集会」が開催されました。当日は、ホスト支部を務める太田支部役員が揃いのジャンパーを着用して

の設営サポート、太田支部会員有志が受付前に物販ブースを出展するなどして、約一二〇名の参加者を出迎えました。基調報告の報告者には、今年度より神奈川同友会の代表理事を務めるニイガタ株式会社、代表取締役・渡辺學氏を

迎え「経営者としての自覚と覚悟〜リーダーの在り方が会社を成長から進化へ導く〜」と題して報告いただきました。工業彫刻業としてスタートした家業からの脱却と事業承継、ワンマン経営の罣や組織変革のキーパーソンについてなど、同社の実践事例を交えて報告。さらに成長から進化へと導く未来への展望や自身の経営哲学を時間の許す限り紹介してい

きました。報告の最後に「小才は縁に出会って縁に気づかず。中才は縁に気づいて縁を活かさず。大才は袖すりおうた縁をも活かす」と柳生一族の家訓をメッセージとして「縁に氣付く感性を磨き、その縁を活かせる勇氣を持つために、お互い学んでいきましょう」と訴えました。基調報告後のグループ討論では「経営者として、どのような自覚と覚悟を持ち、何を変えよう行動していきますか？」をテーマに意見交換。業種や企業規模の異なるメンバー同士が、それぞれに感じたことや考え方を交流し、明日へのヒントを持ち帰りました。参加者アンケートには「聞く力が試される報告。経営の本質に迫る質の高い内容だった」と組

織が複雑・高度化する中で、指示するだけのボスではなく、共に育ち支えるリーダーへシフトする必要性を強く感じた」「自己確立＝自分を知る事、人生の目的を明確にすることが重要だと再認識した」「知行合一、自覚し覚悟を持って行動したい」などの感想が寄せられていました。



# 経営者としての自覚と覚悟

## 2025経営研究集会を開催

# 障害者雇用70人でも

## 会社は発展する

### 障害者雇用委員会

障害者雇用委員会は、十月二十日(月)、高崎市総合福祉センターを会場に例会を開催しました。山口県にて牡蠣を中心とした冷凍加工食品の製造を行

う(株)カン喜・代表取締役、上坂陽太郎氏をお迎えし「障害者雇用70人でも会社は発展する」とのテーマで、自社の障害者雇用の実践事例から今後の展望ま

でを報告いただきました。



上坂氏は冒頭で、障害者を「正育者」と呼ぶ事に触れ「正しい教育により能力を引き出され、仕事に共に出され、仕事を共にすること、健康者の成長にも好影響を及ぼすとの確信から、実父は障がい者を「正育者」と呼んだ」とその理由を説明。同社の事業概要と障害者雇用の変遷を振り返りつつ、食品工場で障害者を雇用する事への強烈な偏見と市場競争により訪れた会社存続の危機、逆



境から生まれたカキグラタンに世間の安心・安全志向の高まりが国産食品の強力な追い風となつてV字回復を果たした業績の推移を紹介しました。また、同社の体系的な教育と生活支援体制、そこから生み出されたイノベーションについても触れ「定量的な数値では測れないが、教える側と教えられる側が相互



に刺激を受け、共に挑戦し続ける企業文化そのもの」と語りました。

その後は「障害者雇用を企業の成長要因と捉えるために、経営者が成すべきことは何ですか?」をテーマにグループ討論を実施し「障害者雇用がもたらす肌感覚での良い変化が、財務諸表に反映されにくい現実を埋めるのが経営者の役割」「単なる社会的義務や特定社員のための配慮と捉えるのではなく、組織全体を改善するための戦略的な一手と見なす視点の転換が必要」といった討論内容が発表されました。

# 未来の仲間 魅力が伝わる に魅力メッセージを

Que Project inc.

合同会社キュー・プロジェクト

▶リクルーティングプランニング  
▶デザインツール制作

<https://que-project.co.jp>



◎お気軽にご相談ください。  
他中小コンベンションも多数あります。

◎他県からも便利な磯部温泉 東京よりJRで1時間◎  
会議⇒温泉⇒宴会⇒宿泊⇒会議

スクール形式 最大700名可能



ホテル磯部ガーデン TEL.027-385-0085



## メディアの歴史から読み解く実態

### 前橋支部10月例会

前橋支部では、十月二十三日（木）、前橋商工会議所を会場に



支部例会を開催しました。「メディアの歴史から読み解く実態」報道に流されずに自分の考えを持つことの重要性」とのテーマで、(有)夜野きこの園、代表取締役・金子崇範氏（沼田支部）が報告しました。

金子氏は「そもそも、何故、何のために」をキーワードにメディアの成り立ちを掘り下げる事からスタート。情報統制や価

値観の刷り込みといった戦後のメディアの役割、昨今のSNS普及による情報と真実の食い違いなどを指摘し、メディアの役割と誰のための情報なのかを見極める必要性を訴えました。また、実際にあった不自然なニュース映像を紹介し「情報の発信側には何らかの意図が存在している」と考えるべき」と、これからのメディアとの付き合い方に言及しました。

政治や海外情勢など、経営者

に求められる情報の取捨選択に必要な視点を考えさせる例会となりました。

## その経営課題、どう解決しますか？

### 伊勢崎支部10月例会

十月二十一日（火）、プラザ・アリアを会場に「伊勢崎支部十月例会」を開催。「その経営課題、どう解決しますか？」新会員三名とのパネルディスカッション」をテーマに、かな鍼灸院・小林可奈氏、久保田労務管理事務所・久保田哲也氏、(株)小林産業・浦部幸也氏（いずれも伊勢崎支部）がパネラーを務めました。

座長の小淵氏による軽快な

リードをもとに、自己紹介や会社概要の説明をはじめ、現在抱えている経営課題を率直に語った新会員三名。それを受けてのグループ討論では「ヒト・モノ・カネ・情報・その他、仕事上の困りごと」について、ざっくば

らんに意見交換したほか、新会員の経営課題に寄り添った提案やアドバイスなどが出されていました。

その後は「同友会を使って、どう経営課題を解決していくか？」と題し、諏訪支部長と杉崎代表理事が自身の経験を交えて、それぞれの同友会活用術を紹介。新

会員に限らず、あ

らたためて

同友会に

参加する

意義を考

える機会

になりました。



## 学んで動いて活かす！

### 沼田支部10月例会



沼田支部では、十月二十二日（水）、利根沼田文化会館を会場に支部例会を開催。全国一三〇店舗の生花店と独自のフラワーネットワークを構築する(株)花助・代表取締役、小林新一氏を迎えて「学んで動いて活かす！実践報告」屋号に込められた思い、ブレない経営姿勢」とのテーマで報告いただきました。

現在、アイドルなどの「推し活」をターゲットにしたフラワーネットワークを大都市圏を中心に全国展開する小林氏。バラの栽培農家に生まれた小林氏が、家業を継がず現在の事業に行きついた経緯、自身のアイデアが正しいのか仮説・実証を繰り返す中で下した経営判断、市場（推し活）に寄りそうセルフブランディングなどの実例を細かく紹介していただきました。

参加者アンケートには「仮説・実践・検証を繰り返し、ビジネスモデルとして構築する行動力を見習いたい」「誰をお客様にするのか？やらないことを決める」という内容に刺激をもらえた」といった感想が記されていました。

# 知らなきや損するInstagram

太田支部10月例会

十月三十一日(金)、テクノプラザ太田を会場に「太田支部十月例会」を開催。「知らなきや損するInstagram」苦手意識をなくして、実践から学ぼう」をテーマに、(有)果実庭・桑原裕和氏(沼田支部)、(株)中島・中島将太氏(伊勢崎支部)の二名が、自社でのInstagram

am活用術について報告しました。

世代別の利用率、機能・使い方、アカウント取得方法など、Instagramに関する基本情報が座長の若月氏から説明されたのに続き、桑原氏・中島氏の順に登壇しました。桑原氏は、実際の投稿内容や投稿頻度、それに対する反応や効果を紹介。ポイントとして「肩肘張らず気軽にスタートし、細く長く続けるのが大事」と語りました。中島氏は、目的を採用活動に定め、これまでの成果や課題について言及。今後の継続性確保に向けては「広報部門の立ち上げや委員会での運用を進めていく」としました。



報告終了後は「使ってみたくありませんか?」という経営に活かしますか?」



をテーマにグループ討論を実施。「業種を問わず、認知度向上の取り組みは必須と感じた」「炎上や乗っ取りなどには十分注意したい」「まずはやってみることが何よりも大事」など、活発な意見が交わされました。

## 行動すれば 道は拓ける!

渋川吾妻支部10月例会



十月十七日(金)、渋川市中央公民館を会場に「渋川吾妻支部十月例会」を開催。金型設計製造・プレス加工の(株)クボタ、代表取締役・久保田強史氏(渋川吾妻支部)が「行動すれば道は拓ける!」何度もピンチを乗り越えた経営哲学」と題して報告しました。

自己紹介・会社概要の説明に続き、入社から現在に至る四〇年超の歩みを時系列で振り返った久保田氏。先代(父親)との度重なる衝突や連日徹夜の過酷な労働環境、どん底を彷徨った倒産危機から復活を遂げる軌跡まで、怒涛のような経営体験が

生々しく語られました。また、自身の歩みを踏まえて「自社の武器を持って、武器を磨け」「悩まずに考えろ。決めたら行動に移せ」「お客を選べ。良いお客には最善を尽くせ」「自分の存在意義を考えろ」など、社会人として、経営者として学んだ格言を紹介しました。

報告終了後は「自社が生き残れた(生き残れる)理由は?」をテーマにグループ討論を実施。「自社の強みを究極に磨き続ける」「利他の精神と変化への対応力が肝要」「最終的には経営者の諦めない心」など、活発な意見が交わされました。



## 信頼を生む関係づくりのユニット

## 富岡安中支部10月例会

富岡安中支部では、十月三十一日（金）、富岡地域づくりセンターを会場に支部例会を開催。Being働き方Doin.g代表、大石尚氏（同支部）が「信頼を生む関係づくりのヒント～コーチングスキルと聴く技術～」と題して報告しました。キャリアコンサルタントや産業カウンセラーといった複数の資格を活かし創業した大石氏

は、ティーチングとコーチングの違いをインプットとアウトプットに置き換えて解説し「経営者が正しく理解し、目的や階層に合わせて使い分ける事が大切」と説明。また、ダニエル・キムの提唱する成功循環モデルを用いて、結果の質ではなく、関係の質を起点に考えることで信頼関係の構築（グッドサイクル）に繋がることを、自身の豊富な経験と合わせて紹介しました。



さらに、信頼関係をつくる上で重要な「聴く力」にも言及し、今より相手の話を聴けるようになるコツとして「急いで判断せず、じっくり待つこと、最後まで聴いてから自分の意見を伝えること、最後まで聞いて私がどう感じたかではなく相手はどう感じ



ているか？」を意識してほしい」と訴えました。報告後のグループ討論では「私流の信頼関係の築き方は？」とのテーマで意見交換を行い、各社のコミュニケーションの現状や報告の感想などを話し合いました。

参加者アンケートには「ティーチングとコーチングの整理ができた。意識して使い分けていきたい」「個別に学んでいた知識が体系的に繋がった」「信頼関係の築き方がロジカルに分かりやすく伝わってきた」等の感想が記されていました。

**面倒な会計業務はお任せを!!**  
電子帳簿保存法・インボイス制度対応の簡単クラウド会計  
統合型クラウド財務管理システム  
**KEEPERClub**  
同友会 高崎支部会員 株式会社 **ジスプラ** ☎ 0120-638-377

## 軽量鉄骨システム建築 プレハブハウス

用途に合わせ自由設計、コスト削減（事務所、店舗、倉庫、他）

プレハブパネル工法は規格部材を工場生産 経済性に優れ、短工期

## 株式会社 三栄工業

〒378-0002 群馬県沼田市横塚町 896-2

TEL. 0278-20-1110 FAX. 0278-22-2102

URL <http://kk-sanei.net/>

## 『同友ぐんま（通常号）』

## 広告募集

【広告料】2万円（一口×6回掲載）

【スペース】縦44mm×横87mm（一口分）

\*掲載を希望される場合は、同友会事務局までご連絡をお願いいたします

群馬中小企業家同友会・事務局

TEL 027-232-0001 FAX 027-232-0666

## 経営者が学ぶべき お金の話

桐生みどり支部10月例会



十月二十二日(水)、桐生市職業訓練センターを会場に「桐生みどり支部10月例会」を開催。「経営者が学ぶべきお金の話」脱☆ドンブリ経営、はじめの一歩」と題し、(株)skymaマネジメントコンサルティング、代表取締役・鈴木智統氏(高崎支部)が報告しました。

鈴木氏は、企業経営における「お金の話」の前提条件として「ビジョンを裏づけるのがお金であり、ビジョンとお金は両輪である」ことを強調。その後、お金のブロックパズル(ストラック図)に基づいて、利益を

増やすための考え方やキャッシュフローを重視する大切さなどを丁寧なレクチャーしました。報告のまとめでは「細かい数字や指標ではなく、経営判断に必要な数字をしっかりと押さえることが大切」と語りました。

参加者アンケートには「あらためてお金の基本を復習する貴重な機会になった」「なぜ手元に現金が無いのか?その疑問が少し解消できた」「売上より利益、利益よりキャッシュフローという指摘が刺さった」などの感想が綴られていました。

## 社員が成長しない! それ社長の責任です

高崎支部10月例会

十月二十八日(火)、ビエント高崎を会場に「高崎支部10月例会」を開催。群馬同友会・経営労働委員長を務める(有)小板橋産業、代表取締役・小板橋哲也氏(富岡安中支部)が「社員が成長しない!それ社長の責任です」経営労働委員長が語る社員成長の本音」をテーマに報告しました。

二〇一六年、社長就任直後の心境を「社長の仕事とは何か?不安で仕方なかった」と振り返る小板橋氏。相談に乗ってくれた田村氏の誘いで同友会へと入会し「自分が変わらなないと会社は変わらない」という思いを強くした」と言います。

その後、同世代の会員経営者をターゲットに定め、様々な同友会活動を通じて自己変革につなげていったエピソードを紹介。特に経営指針をつくる会への参加、あるいは経営労働委員長としての学びについて熱



く語りました。

報告終了後は「社員の成長のために何をしていますか?」をテーマにグループ討論を実施。「経営者が方向性を示し、仕事を任せること」「社員の特性を把握し、特性に応じた教育を行う」「挑戦する、成長する組織風土をつくるのが大事」など、活発な意見が交わされました。



限りある資源を、次世代へ。  
株式会社エスティビー  
Zero Emission Stability Topline Business, Co., Ltd.

経営理念「絶やさぬために」

私たちは、動画・静画の価値を物産力で、人と社会の生命活動を支え続けます。



住所 〒379-2123  
群馬県前橋市山王町1-19-14

連絡先 TEL: 027-212-3312



アルミ精密部品の切削加工メーカー

株式会社 エーピーエム

充実した設備と長年培った確かな技術力で  
お客様のご要望にお応えします!

〒373-0847 群馬県太田市西新町103-2

TEL0276-30-4058 FAX0276-30-4059

URL: <http://www.apm-f.com> E-mail: [fuse@apm-f.com](mailto:fuse@apm-f.com)



# 会員たんしん

同友会のホームページで  
会員検索できます。

## 【柴崎農園が最高賞】

柴崎農園

第13回「食品産業もったいない大賞」（公益財団法人食品等持続的供給推進機構主催）の表彰式が30日、東京都内で開かれ、最高賞の農林水産大臣賞に輝いた高崎市の柴崎農園（小林郁子氏／高崎支部所属）など7事業者に賞状が贈られた。本県関係の受賞は初めて。

同園は廃棄を減らして規格外品に新たな価値を見いだそうと、2022年にレストランを開業。予約制で必要な分だけ収穫し、客に食べきれぬ量を聞き料理を提供している。傷があるトマトはソースに、余ったイチゴは瞬間冷凍してスムージーに加工するなどして廃棄を9割削減した。

式には斎藤代表の長女でレストランを運営する小林郁子さんが出席し、協賛する農水省の河南健総括審議官から賞状を受け取った。小林さんは「消費者の皆さんと30年かけて一緒に成長してきたことが財産。農と食で人がつながるまちづくりを続けていきたい」と話した。

[10 / 31付上毛]

## 【高崎に声優養成スクール】

中央カレッジグループ

中央カレッジグループ（代表理事長・中島利郎氏／前橋支部所属）は来年4月、声優養成スクール「VOIST（ボイスト）」を高崎市内に開校する。現役の声優や音響監督らが講師を務め、最先端の教育プログラムを提供する。

ボイストは定員50人。中学卒業見込みか卒業以上の人が対象で年齢制限は設けない。2年制で、入学時期は毎年4回（4、7、10、1月）とする。毎週土曜に3時間のレッスンをを行うため、高校生や社会人は学業や仕事との両立が可能だ。

[10 / 31付上毛]

## 【前橋国際大でシゴトーク】

共愛学園前橋国際大学  
しのめ信用金庫

県内企業と大学生の交流イベント「ぐんま若者シゴトーク」が、前橋市小屋原町の共愛学園前橋国際大学（学長・大森昭生氏／前橋支部所属）で開かれた。県内5社の社員10人が参加し、同大の1年生約90人に仕事のやりがいや自社の魅力を紹介。勤務時の服装ルールや休みやすさといった質問に気さくに答えた。

参加したのは群馬トヨタグループ、しのめ信用金庫（理事長・横山慶一氏／富岡安中支部所属）、ベイシア、三益半導体工業、両毛システムズ。

[11 / 4付上毛]

## 【東毛3社が連携企画】

（株）群馬クレインサンダーズ

東毛地域を拠点とするスーパーのとりせんとプロバスケットボールチーム運営の（株）群馬クレインサンダーズ（代表取締役・阿久澤毅氏／太田支部所属）、千代田町に群馬ビール工場を置く飲料大手のサントリーは4日、3社共同のキャンペーンを始めると発表した。とりせんでサントリーの飲料や酒を購入すると抽選で同チームの観戦チケットなどを贈る。連携して店舗や商品の利用促進、ファン獲得につなげる。

キャンペーンは、とりせんの店舗で対象商品を含む千円以上の買い物をする、ホーム戦観戦チケット（15組30人）やサイン入りレプリカユニホーム（5人）が当たる。とりせんアプリ会員限定で、期間は12月15日まで。

[11 / 5付上毛]

## 【くるみん、えるぼし8法人に認定通知書】

（株）スカワ

従業員の子育てに積極的な「くるみん」と、女性活躍を推進する「えるぼし」に認定された県内の8法人に対する認定通知書の交付式が5、7の両日、前橋市の前橋地方合同庁舎で開かれた。群馬労働局の上野康博局長から各法人に認定通知書が手渡された。

くるみんに認定されたのはアイ・ディー・エー、サンヴァーテックス、榛名荘、ティーネットエンタープライズ、カネコ種苗、東亜工業、広済会。えるぼしには広済会と（株）スカワ（代表取締役・須川光一氏／高崎支部所属）が認定された。

[11 / 8付上毛]

## 【私募債寄付】

増田煉瓦（株）

増田煉瓦（株）（代表取締役・増田晋一氏／前橋支部所属）。群馬銀行の「ぐんぎんSDGs私募債」で石倉町上石倉自治会に寄付金6万円。

[11 / 11付上毛]

## 【ミールキット生産拡大】

グリーンリーフ（株）

野菜の生産や加工、販売を手がけるグリーンリーフ（株）（代表取締役・澤浦彰治氏／沼田支部所属）は、本社機能を備えた新工場を整備し、今年1月に稼働を始めた。自社で育てた農産物を使い、炒めたり煮たりするだけで手軽に料理を作れる「ミールキット」を中心に生産する。最新設備の導入で従来より消費期限を長く設定できるようになり、消費者の利便性を高めて販売を伸ばす。

同社は県内約100㌦の農場で野菜を生産し、こんにゃくや漬物といった加工、販売にも力を入れる。とりわけ生協を通じ家庭に宅配されるミールキットは、手軽さと品質が支持されて需要が高まっている。

これまでは漬物と製造工場が同じで、ミールキットを作れるのは夜間に限られていた。約31億円を投じて建設した新工場（延床面積約5千平方㌦）は、フル稼働時の生産能力を従来の5倍に高めた。

[11 / 13付上毛]

## 【障害者アートに関心を】

（株）北毛久呂保

こんにゃく製造販売の（株）北毛久呂保（代表取締役・兵藤武志氏／沼田支部所属）は、40年にわたる看板商品「かみかみこんにゃく」で新たに3種類の味を開発し、障害者が描いた作品のポストカード入りの新商品を発売した。こんにゃくの消費喚起に加え、障害者アートに関心を持つきっかけとなる商品として売り出す。

多機能型事業所「SONATARUE（ソナタリュー）」と連携し、知的、身体、発達、精神の各障害がある利用者が制作した水彩画5作品のカードを各1枚同封する。商品ラベルの絵も障害者が描いた。曲がっても気にならないよう形を丸くし、同社で働く障害者がラベル貼りを担当。今後、同事業所の障害者が作業の一部を担うことも視野に入れる。

各648円。JR高崎駅構内「群馬いろは」や昭和村の道の駅「あぐりーむ昭和」、自社ECサイトなどで販売する。

[11 / 15付上毛]

## 【夜通し頑張れる1杯】

（株）大和屋

コーヒー製造販売の（株）大和屋（取締役会長・平湯正信氏／高崎支部所属）と前橋工大は14日、共同開発したドリッブコーヒー「The Mit-night Sun」を発売した。研究やポート提出など夜通しで頑張ることができるよう、強い苦みと深いこくが特徴的な味わいに仕上げた。

開発プロジェクトへの参加を志願した4年生が味わいやパッケージデザインを考案。インドネシア産の豆2種をブレンドし「エナジードリンクに代わるくらしい味のインパクト」を表現。商品名には「白夜」の意味を込め、寝る間を惜しんで研究に取り組みたい学生の熱意を表し、同大英語表記の頭文字をつなげた「Mit」も入れ込んだ。

1包200円。同社販売店舗の大和屋珈琲前橋六供店と同大の売店で販売する。

[11 / 15付上毛]

## 【会員登録変更】

（有）中里スプリング製作所、代表取締役・中里良一氏（高崎支部所属）では、この度、「代表取締役・中里保史氏」に会員登録を変更しました。

新会員  
ご紹介11 月度常任理事会承認  
会員名簿追加録(順不同・敬称略)

企業名・役職・氏名・生年・所在地・電話・FAX・業務内容・趣味・紹介者

コンサルティングオフィス山田 〒373-0037 太田市新道町1367-2 メルヴェーユIV202  
TEL: 070-8420-7861代表  
山 田 裕 一  
H2年生人材育成、研修講師、補助金計画策定支援、経営改善計画策定、中小企業診断士  
投資、節約、旅行  
【紹介者/小川浩司】

中小企業診断士として、経営計画の策定支援等を行っており、中小企業の実情に即した経営支援を心がけております。同友会では、経営者の皆さまと直接意見交換できることを楽しみにしております。どうぞよろしく願っています。

## 太田支部

1. ニ〇二五経営研究  
集会の詳細確認につ  
いて  
今月十四日に開催が  
迫った経営研究集会に  
ついて、プログラムや  
参加申込状況などの確

## II. 審議・承認事項

②十月三〇日開催「関  
東甲信越ブロック支部  
長交流会(埼玉)」参  
加報告  
③支部還元金(下半期)  
支払報告

## 加報告

①十月十五日開催「中同協第二  
回幹事会(東京)」参  
加報告

## 2. その他

1. 各支部・部会・委員会等の  
案内報告  
各組織担当者より、活動報告  
や今後の計画、依頼事項などが  
ありました。

## I. 報告連絡事項

【議 事】  
小林副代表理事が議長をつと  
め、町田代表理事挨拶のもと、  
第七回理事会開会。

認、最後の参加協力依頼が神保  
実行委員長よりありました。

2. 中同協障害者問題委員会(群  
馬)開催概要について  
一月二十二日・二十三日、群  
馬で開催される中同協障害者問  
題委員会の概要について、石原  
障害者雇用委員長より説明・提  
案があり、これを承認しました。

3. 国際産業技術専門学校との  
連携について  
国際産業技術専門学校との連  
携(共同でのセミナーなどを予  
定)について、提箸共同求人委  
員長より提案があり、これを承  
認しました。

4. 新年度理事候補者推薦依頼  
(再)について  
あらためて各組織へ新年度理  
事候補者推薦依頼がありまし  
た。

5. 入退会者承認と仲間づくり  
推進について  
前回理事会以降の入会者一  
名、退会者二名を承認。会員数  
は五〇七名となりました。

III. 意見交換・その他  
1. 意見交換  
総務会からの問題提起を受け  
て「今後、群馬同友会をどう活  
性化させていくか?」をテーマ  
にグループ討論を実施。会員増  
強や参加率向上を中心に、具  
体的な取り組みについて意見交  
換が行われました。

## III. 意見交換・その他

2. 次回理事会の開催確認  
次回理事会を左記の通り開催

また、各グループから出され  
た意見・提案等については、あ  
らためて総務会で内容を精査・  
集約し、今後の理事会で引き続  
き検討することとなりました。



■日時/十二月二日(火)  
■会場/同友会事務所  
+ウェブ(併用)  
することが確認され、議長は佐  
藤副代表理事が担当することに  
なりました。

環境を思う、未来を想う  
あらためて誓う  
上武印刷

優れた環境適応性。  
より高精度で美しい仕上がり  
「水なし印刷」システム  
「水なし印刷」は、湿し水を使用せず有  
害な廃液を0にし、その結果CO<sub>2</sub>を削減  
します。環境への負荷が格段に少ない  
印刷システムです。

ムダな廃棄物を出さない。  
必要な時に必要な部数を  
オンデマンド印刷  
オンデマンド印刷は、必要な時、必要  
なだけの印刷でムダがなく、環境面  
で優れています。また、印刷コストを抑  
え、納期も短縮できます。

私たちは、環境にも、お客様にもやさしい企業を目指します。

群馬県環境GS認定事業所



上武印刷株式会社

〒370-0015 高崎市島野町890-25

TEL 027(352)7445(代) E-mail eigyo@jp-t.co.jp  
FAX 027(352)2953(営業) URL http://www.jp-t.co.jp/